

学年 通信

高9回卒 通信

故郷の思い出

吉田 博

早暁の船端で荷物の積み下ろしが始まっていた。こんな朝早くからよく働くのだと感心してみていた。潮の香りと汗のにおいが混じり活気を呈していた。天草の小さな漁港であった。馬車が一台止まっていた。大きな図体の馬がつながれていた。頼んで御者口に乗せてもらい、砂利道の奥道をゆっくりとしたペースで走り始めると、馬はいきなり大小便をした。びっくりすると同時に愉快になって大笑いした。それから御領まで20kmほどのんびりと走った。天草での最初の一步であり、強く印象に残っている。

私は兵庫県の明石市で生まれ育ち、6歳の時、電車事故で右足大腿部を切断した。そのためか、周囲の人々に温かく可愛がられた。春の大師堂での講めぐりなど村の祝祭日には殆ど参加していた。炊き込み御飯のおにぎり、豆腐の白和え、

炒り豆等の数々の下され物の美味だったことも忘れられません。お祭り等の行事も細かいところまで記憶にあります。

が、中学卒業前には高校受験の是非が大きな課題となってきました。身体障害のために高校でのカリキュラムが満たせないのも、受験そのものができず、県立の職業訓練学校ではどうかという話でした。前途に全くの暗雲が立ち込めたみたいでした。しかし幸いなことに受験が認められることとなりホッとしました。

小学校から中学校の間に本当に家の農作業をよく手伝いました。光をいっぱい浴びて体を動かすのは健康にとって最高の贈り物だったと思います。その後、大きな健康障害もなく、84歳の現在となっています。

徒然なるままに日暮し、硯に向ひて心にうつりゆくよしなしごとを・・・と書いてあった徒然草、「徒然なか」と話すとき、昔の良い言葉が天草には残っていたのだと感心したことも覚えていています。故郷天草のすべてですね。



高10回卒 通信

無題

福田 攝子

私が本会の存在を知るきっかけは、高卒6年目大阪の街で吉田博先輩にばったり出会った事でした。現役時代は生徒会副会長と書記の間柄で、家も近い旧知の先輩でした。

同窓会に誘われ会を訪問したら、本会同窓会総会に急遽参加する事に。しかも同窓会先輩である中京支部の貸し切りバスに便乗し、天草高校本部での総会に参加した。

中京支部は車中の楽しい企画で、長いバス旅を退屈させない準備迄して頂いて、忘れられない関西同窓会の思い出ができた。

数年前の関西総会に中京支部の方が来賓で出席されていたので、お世話になった話をしたが、全くご存じなくて年代の違いを感じた。ぼけ老人を自覚しているし、そろそろ引退をしないと、と。



総業100年へ向けて
人と、暮らしと、夢実現のお手伝い

総合建築業
株式会社 **小竹組**

代表取締役社長 江越 征記 (高15回卒)

本社 〒852-0871 熊本市中央区大江4丁目13番20号
電話：096-366-2111 FAX：096-366-2116
ホームページ：https://kotakegumi.co.jp
メールアドレス：soumu@kotakegumi.jp

支店 鹿児島支店
関西地区担当 顧問 本島 昭男 (高15回卒)
〒651-1514 神戸市北区鹿の子台南町2丁目8番5号
電話・FAX：078-951-6875
メールアドレス：motoshima@poo21.odn.ne.jp

高11回卒 通信

この時期
色んな本が読めます

益田 信行

今の私は、毎日が休日である。しかしコロナの時期でもあり、外出することが少なくなった。いくつか入っている会もコロナのため延期か休会が多い。

そうなるとう家では、テレビか読書の時間が増えてくる。そこで新聞の広告欄から評判の本を調べては、本屋に行かずネットで買ったりしている。

近頃読んだ本の中で、印象に残った何冊かの本を書いてみます。

「52ヘルツのくじらたち」町田その子、
「白鳥とこうもり」東野圭吾、「シャッターマウンテン」北林一光、「本心」平野啓一、「奇跡のバックホーム」横田慎太郎、「かがみの孤城」辻村深月、「同志少女よ敵を撃て」逢坂冬馬、「生物はなぜ死ぬのか」小林武彦、などがある。

その中の「かがみの孤城」は、学校で居場所をなくし、部屋に閉じこもっている



た中学一年生の少女が、自宅の姿見に手を伸ばすと中に吸いとられてしまう。その先には城のような不思議な建物があり、自分と似た境遇をもつ中学生六人と出会う。何故この七人が、何故この場所に、今まで読んだことのない夢想的物語のミステリーでファンタジー。(本屋大賞)

次は「同志少女よ、敵を撃て」は独ソ戦を舞台にした女性だけの狙撃小隊の物語。戦場感あふれる戦闘描写と女性狙撃兵の視点から描かれた生と死。アクションの迫力と構成の上手さに、を30代の戦争体験のない新人作家に脱帽と拍手。「戦いたいのか死にたいか」を問われた彼女たちが見つけた答えとは。戦闘場面が多く、銃器類も詳細で長文だが、内容は奥深く感動的な本。(アガサクリスティ大賞)

最後に「生物は何故死ぬのか」は、興味あるテーマで読み始めたが、生物学の図も多く、私には正直難しかった。興味のある方は是非解読して欲しい本です。

高12回卒 通信

肺ガン治療中

玉川 豊喜

昨年、8月初めに肺ガンと指摘され「レベル4」との事です。

わが国でも年間多くの方が亡くなっています。「あまたか関西」の皆さんへガン予防の対策と、これまでの治療の内容で今後の参考になればと思いい書いてみました。

肺ガンの発見は、友人の子供が、脳神経科を開業し最新の医療機器のMRIがあるの、「認知症の結果」の判別？ 変な考えでの診断を受けました。そこで、専門医で診断するように指摘され九州大で専門用語で化学療法(液体の抗がん剤点滴)の治療となりました。20日間隔で点滴をします。

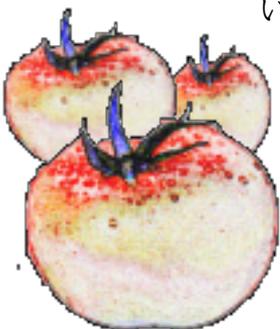
「ガン細胞」と「抗がん剤」との体内での戦争になりますので副作用が発生します。まず、脱毛・吐き気・嘔吐・便秘・口内炎・むくみ・味覚の障害・皮膚の障害・倦怠感。脱毛以外は全て経験しました。2回目までの抗がん剤での副作用は

大変でした。これまで10回の抗がん剤を受けました。現在副作用は少なくなりました。最初から痛みは有りませんでした。現在、肺ガンと診断され8ヶ月となります。ガンの進行具合は平行状態です。入院でも通院でも可能との事で、通院を選んでいきます。無理のない範囲での運動は可能との事で、これまでに休日には野菜作りをして来ましたので、これまでに以上に野菜作りで気分転換と適度な運動を兼ねて行動する様にしました。

現在、畑に植えている野菜は玉ネギ30本、空豆30本、イチゴ20本、人参、不断草、ホーレン草、大根、丸大根、カブ、里芋、ジャガイモは5kg、絹さや、スナックエンドウ、春菊、カツオ菜です。イモも焼芋用の紅はるかを約200本植えます。収穫時は畑友達や娘家族と畑で焼芋パーティーです。

土手の草刈も、夏には草の成長が早く大変です。草刈後は達成感があります。この歳での達成感が味合う事は野菜作り作業での褒美です。「肺ガンの細胞」との戦いに「抗がん剤の点滴」と「新鮮な野菜の採集での農作業」で対抗中です。どの程度の効果が不明です。

最後になりましたが、大阪万博の頃、5年間大阪にいまして懐かしい所です。



高15回卒 通信

旧友からの知らせ

岡田 長八郎

今年3月、熊本の江越君（15回卒）から電話で「明日朝6時よりテレビで君の出身の崎津があるので見らんね、懐かしからうと思つて」と知らせてくれた。

火野正平が投稿者の忘れられない風景を自転車で訪ねる番組で、今回は昭和36年に熊本から崎津にある宣津中学校に赴任された先生の手紙によるものでした。熊本から列車・船・バスと乗継いで6時間かけてやっとたどりついた崎津集落の風景に感動したと内容でした。弟に確認したところ先生は初めての任地が宣津中学校で3年間勤務の後天草工業高校に移られたそうで、それだけに初めての担任の生徒達や土地柄への思い入れが深かったのだらうと思います。

私の子供の頃は写真（テレビで映された場所と同じ位置からのもので）の湾の中で地引網が行われ、春にはしらす漁があり、時に網子の人が弁当箱一杯のし



休みに帰省する時は洗濯物をみやげにバスで2時間半、羊角湾の鳴瀬の鼻をまわると崎津集落が目に入ります。

らすを持ってきてくれ生きたまま食したものでした。夏には今ほど規制がなく、この海の好きなどころで泳ぐことができ、係留中の船から飛び込んだり、対岸を集団で往復したりして遊びました。当時の子供達の遊びは大きい子も小さい子もいっしょで、その中の年長者がうまくコントロールして自然に集団が守られていた様に思います。

昭和35年天高に入学、寮に入りました。親元を離れて不安はありましたが、兄が寮の経験があり事前に様子を聞いていたこともあり驚きはありませんでした。一年生の時は入寮して間もなくの肝試し、先輩へのあいさつや言葉づかい等の説教朝夕の掃除、点呼、洗濯等種々と厳しいこともありました。

飛び込んできて、ほっとするとともに腹一杯めしが食えるぞとうれしくなりました。思いがけなく故郷を思い起させてくれた友の知らせに感謝。



浜木綿

2020年11月に天草へ帰った時、大江天主堂のお庭の大きな「浜木綿」の種を姉が拾ってくれました。大事に持って帰り鉢に植えました。芽が出て、まだ花は咲かないのですが、こんなに大きくなりました。この「浜木綿」を見るたびに、大江天主堂の庭から見た景色と庭に咲いていた「浜木綿」が思い出されて、心がほっこりします。

大切な人へ、ありがとう。
その気持ちを「住まいのリフォーム」という贈りものに代えてお伝えしませんか。

LIXILリフォームショップ あませつ

天草設備株式会社

給排水・電気・空調・太陽光発電工事等

代表取締役 横山英生 (高20回卒)

2010熊本赤いモン

あなたのパーソナルホテル

天草プラザホテル

オーキッド カフェ

9:00-20:00

〒963-0022 天草市東町4-8 TEL:0969-23-5511 / FAX:0969-23-5589

まちのコミュニティホテル

プラザホテル アネックス

花大路

PIER 9

9:30-20:00

〒963-0022 天草市花大路15-1 TEL:0969-23-3000 / FAX:0969-23-3240

http://www.amaxa.co.jp plaza@amaxa.co.jp

天草・本渡のお泊りとお食事処

高16回卒 通信

16回生の皆様へ

福岡 勝孝

同窓生の皆様お元気で過ごして下さうか。

「喜寿」まだまだお互いに健康に留意して頑張りましょう。コロナ、ウクライナ、地震、不要不急、侵略、

天災、特にプーチンの侵略は、世界中の人々がなぜそんな酷い事を！何の手助けも出来ない我が身に苛立つ毎日です。

「キエフ公国」天高で学んだ事を思い出します。

先般「あまたか関西」への投稿依頼が16回生用になりました。今回は誰にお願いしようか？名簿を見ながら顔を思い浮かべながら10日間が過ぎました。コロナで帰省、遠出もままならずの日々で・・・、もし私の投稿の依頼があったら・・・？10年以上前より難聴になり（家系）補聴器着用の毎日ですので特にTELでの対応が聞き間違い、言い間違い



いが気になり、同窓生の皆様にTELにてのお願いに気が進まない現状です。そこで同級生の皆様に投稿の継続について何か良い案はないか、ご検討頂きたくこの機関紙を活用させて頂きました。

ご意見をお聞かせ頂ければ幸いです。

3月初め、田舎の姉からデコポン、天草の青のり、石蓼、コッパ餅が送ってきました。天草の香り、苦みのある石蓼、甘い餅、天草を思い出し大事に味わっています。

今年こそ天高会の開催案内状が出せる事を楽しみにしています。是非の再会を宜しくお願い致します。

(追記) 今年の年賀状に天高関西の初代会長、佐々木美雄さん(故人)の令夫人八重さん(103歳)が元気で過ごされた事と同居の娘さんより連絡がありました。(家人が故人と従兄妹)旧知の皆様にお知らせしたく追記させて頂きました。

高19回卒 通信

スイカの思い出

林田 実

天草本渡の港町にある「林田酒店」が私の実家である。創業は昭和30年、小生

がまだ小学二年生だった時に父親が勤めていた天草地方事務所(現県事務所)を退職すると同時に、「酒とたばこ」の専売

免許を取得して新築開業したものであり、その後長兄が二代目を引継ぎ今年で開業67年を迎える。

小学二年生までの幼少期は「舟ノ尾」の所長官舎に住んでいたため裏山で昆虫採集に走り回り、港町に移ってからは魚釣りに明け暮れる毎日を過ごした記憶が残っている。

転校の経験は無く、南小↓本中↓天高と自宅から歩いて通学で、各学年では、友人にも恵まれた。

港町の自宅は東側に多少スペースがあり、ザボンにキンカンの柑橘類が生えており、狭いながらも家庭菜園らしきものもあった。そして、父親が栽培したトマトとイチジクはまさに記憶に残る美味しさであった。



酒屋という商売柄店の片隅には、当時としては珍しい大型冷蔵庫が備え付けられていた。勿論ビール、ジュースを冷やすためのものがあるが、トマトやソーメンを冷やすためにもつかわれていた。時には大きなスイカが居座っていることが多く、真夏の暑い時には、家族が揃ってスイカを割って食べた記憶が多く残っている程スイカ好きの家庭であった。

真夏のまっさかり縁側でスイカを頬張り、外に向かってその種をどばしては遊び、また、幾日か経つとその種から芽が出てくるのを楽しんでいたものである。時は流れ、滋賀県に住んで54年、地方公務員として40年民間企業で13年を勤め上げた今、大津の自宅近くの農園100坪足らずを借りて四季の野菜作りに明け暮れている。

スイカづくりは場所と連作障害もあって困難が伴うことが多いが、ここ数年はまわっている。今年も三月に発芽したスイカの種は7月の真夏の収穫に向けて、どんどん大きく成長していくのである。